

平成 22 年度環境工学委員会研究ワークショップ

「環境工学の新しいチャレンジ：有害物質管理の最前線」

私たちの日常生活は様々な化学物質により成り立っていますが、これらの物質の中にはヒトや生態系に対して毒性をもつものや、毒性に関する情報がはっきりしないものが存在します。多様化する価値観や生活様式にともなって、様々な化学物質に関する毒性情報を正しく理解し、適切に管理・利用することが今ほど求められている時代はありません。

微量有害化学物質の管理は環境工学の多くの分野で中心的な課題となっていますが、各分野で取り扱っている物質群や管理手法は様々です。そこで今回のワークショップでは、上水道、下水道、廃棄物などの環境工学の各分野の第一線で活躍している研究者による現状の整理と各分野間の情報交換を行い、有害物質管理の今後を展望することと致しました。ご関心のある方は是非ご参加ください。

- 主催 土木学会（担当 環境工学委員会）
- 日時 平成22年4月23日（金） 13:30～16:15
- 場所 東京大学工学部14号館2階144講義室（〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1）
 - キャンパス内の地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html
 - キャンパスまでのアクセス：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html
- 定員 60名（先着順）
- 参加料 無料
- プログラム

13:30～13:35 委員長挨拶（京都大学大学院工学研究科 教授 津野 洋）

13:35～13:40 趣旨説明（京都大学大学院地球環境学堂 准教授 越後信哉）

13:40～14:10 有機臭素系難燃剤の製品ライフサイクルを通じたリスク評価と管理
（国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター物質管理研究室長 滝上英孝）

14:10～14:40 都市水環境におけるフッ素系界面活性剤汚染の実態
（東京大学 総括プロジェクト機構「水の知」（サントリー）総括寄付講座
特任助教 村上道夫）

14:50～15:20 下水分野における有害物質管理
（土木研究所 水環境研究グループ 総括主任研究員 小森行也）

15:20～15:50 水道における N-ニトロソジメチルアミンの実態と管理
（国立保健医療科学院水道工学部 研究員 小坂浩司）

15:50～16:15 総括討論（司会：京都大学大学院地球環境学堂 教授 藤井滋穂）

（注：発表順序が変更になる場合があります。）

●申込方法

土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) より専用フォームにてお申込下さい。申込みが完了すると確認メールが届きます。そのメールが参加券になりますので、印刷して当日ご持参下さい。

●申込締切 平成 22年4月21日(水)

定員に達した場合には受付を終了致しますのでご了解ください。

●問い合わせ

ワークショップの内容に関して

土木学会環境システム委員会 当ワークショップ担当

京都大学大学院地球環境学堂 越後信哉 (echigo@urban.env.kyoto-u.ac.jp) 宛
参加申込に関して

土木学会研究事業課 (行事担当：佐々木)

TEL 03-3355-3559/FAX 03-3355-5278

住 所 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 (外濠公園内)

●CPD：このワークショップは建設系CPD協議会の認定プログラムです(認定番号：09-0923 単位数：3.3単位)